

# Regional Innovation Research Center 2015

Graduate School of Economics and Management, Tohoku University  
東北大学大学院経済学研究科 地域イノベーション研究センター



## ACCESS



### ▼片平キャンパス構内図



#### バス

【仙台駅前11番のりば】(仙台市営バス)  
霊屋橋・動物公園経由緑ヶ丘三丁目行/  
霊屋橋・動物公園・日赤病院経由八木山南団地行  
東北大正門前バス停下車(約10分、180円)

【仙台駅前12番のりば】(仙台市営バス)  
霊屋橋・動物公園・西の平経由 長町南駅・長町(営)行  
東北大正門前バス停下車(約10分、180円)

#### タクシー

仙台駅西口から約10分

東北大学大学院経済学研究科 地域イノベーション研究センター

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2丁目1-1  
エクステンション教育研究棟 6階

TEL:022-217-6265 FAX:022-217-6266  
E-Mail:rirc@econ.tohoku.ac.jp

<http://rirc.econ.tohoku.ac.jp/>



MESSAGE

### 地域企業のイノベーションを通して実効性のある地方創生へ

2011年3月の東日本大震災から5年目を迎えています。これまでは被災3県をはじめとする東北地域は、建設関連事業に牽引されて一時的な活況を呈して空前の人手不足が続いてきました。しかし、5年後、10年後もこうした一時的な復興経済に依存し続けることはあり得ません。新たな産業を育成し定着させるための経済・社会政策や地域企業による新たなビジネスモデルの革新なくして中長期的な東北地域の発展を期待することはできません。また、今日の政策の柱の一つである地方創生には、東北地域の「産・官・学・金」が連携して実効性ある政策とその実行が不可欠です。

地域イノベーション研究センターは、中長期的な視点から東北地域の経済・社会に関する調査研究を踏まえた様々な政策を提言するとともに、地域経済・社会をリードできる革新的な事業者である「地域イノベーションプロデューサー」とその支援者となる「地域イノベーションアドバイザー」を育成することによって、地域企業のイノベーションを促進し東北地域の発展に貢献したいと考えています。

地域イノベーション研究センター長 経済学研究科教授 藤本 雅彦

## Contents

|                      |       |
|----------------------|-------|
| 新しいステージへの飛躍          | 03-05 |
| 【地域の調査研究】            |       |
| 地域産業復興調査研究プロジェクト     | 06-07 |
| 地域発イノベーション調査研究プロジェクト | 08-09 |
| 【地域の人材育成】            |       |
| 地域イノベーションプロデューサー塾    | 10-11 |
| 地域イノベーションアドバイザー塾     | 12-13 |
| みやぎ県民大学開放講座          | 14    |
| 社会イノベーター人材育成事業       | 14    |
| 関西起業塾                | 14    |
| 地域との交流               | 15    |
| 【広報活動】               | 16    |
| 【RIRCスタッフ】           | 17    |

# 地域イノベーション研究センターの設立

東北の革新のために。

## 設立の目的

地域イノベーション研究センターは、経済学研究科内外の知的能力を組織的に結集して教育研究活動を行うことによって、東北地域のイノベーション能力の向上を図り、東北地域の産業振興と経済発展に貢献するために必要な諸事業の企画、実施および調整を行うことを目的とします。また、センターは本学および地域の企業、自治体、NPO等の実務家たちと交流する場を提供することによって、地域の現実について強い関心と理解をもち地域発展への貢献意欲と能力をもつ人材を育成します。



## 事業内容

- 地域イノベーションに関する研究の推進
- 地域イノベーションに関する教育の推進
- 地域イノベーションを牽引する指導者の人材（地域プロデューサー）の育成
- 地域イノベーションに関する情報交流の推進
- 委託研究、寄附講座、共同研究の受入



## 活動実績

|                     | 2005年度 | 2006年度 | 2007年度 | 2008年度 | 2009年度 | 2010年度 | 2011年度 | 2012年度 | 2013年度 | 2014年度 | 2015年度 |
|---------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 地域イノベーションアドバイザー塾    |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        | →      |
| 地域イノベーションプロデューサー塾   |        |        |        |        |        |        |        | →      | →      | →      | →      |
| 地域産業復興調査研究プロジェクト    |        |        |        |        |        |        | →      | →      | →      | →      | →      |
| 地域イノベーション調査研究プロジェクト |        |        |        |        |        |        | →      | →      | →      | →      | →      |
| 農工商連携プロデューサー育成塾     |        |        |        | →      | →      | →      | →      | →      | →      | →      | →      |
| プロジェクト型教育研究プログラム    |        | →      | →      | →      | →      | →      | →      | →      | →      | →      | →      |
| インターンシッププログラム       | →      | →      | →      | →      | →      | →      | →      | →      | →      | →      | →      |



## STAGE.1 2005.07

## STAGE.2 2011.03

# 東日本大震災の発生、復興への貢献

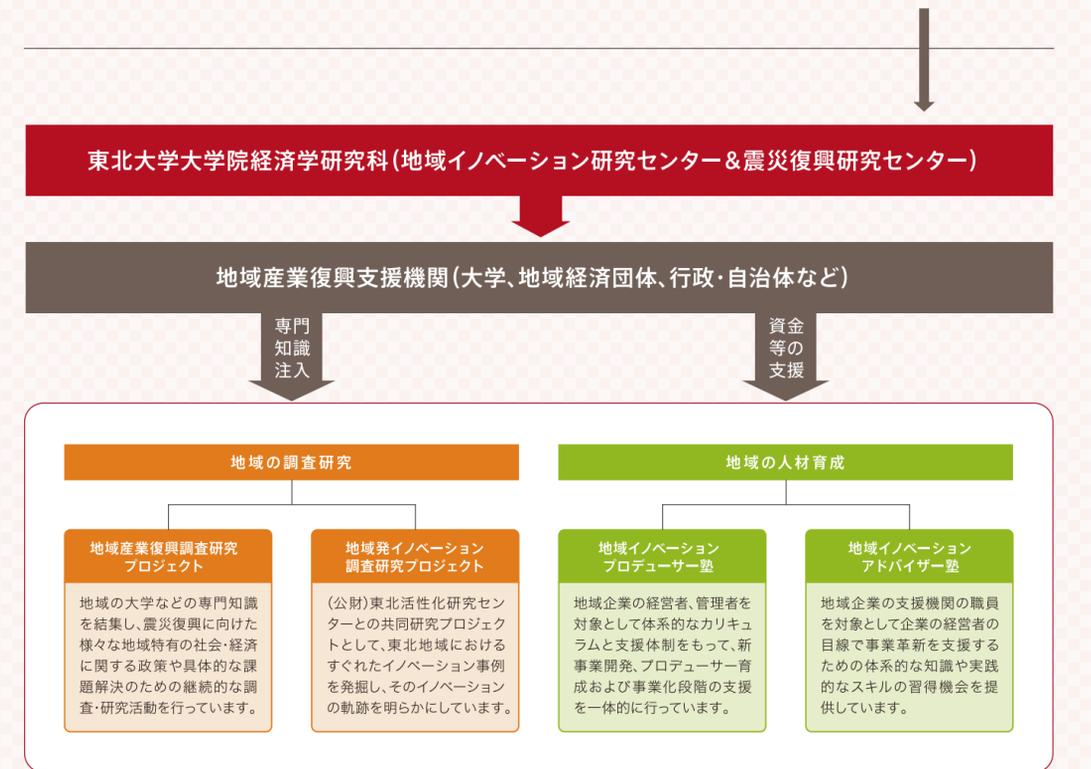
未来への確信のために。

震災復興の中長期的な視点からの支援を目的として、東北地域の産業復興に向けた地域産業復興のグランドデザインを様々な学問的知見を総動員して取りまとめています。継続的にフィージビリティスタディを行い被災地からの政策提言や情報発信をするとともに、2012年度より地域企業の幹部や次世代経営者を対象とした、東北地域の産業復興に貢献できる革新的プロデューサーの育成事業を実施しています。



東北大学は、東日本大震災の被災地域の中心にある総合大学として、東北復興・日本再生を牽引するエンジン・原動力となるため、2011年4月に「東北大学災害復興新生研究機構」を設立しました。3つの基本理念に従い、機動的運営と全学からの積極的参画を得て、8つのプロジェクトに取り組んでいます。

- |   |   |   |
|---|---|---|
| 〈基本理念〉<br>● 復興・地域再生への貢献<br>● 災害復興に関する総合研究開発拠点形成<br>● 分野横断的な研究組織で課題解決型プロジェクト形成 | ■ 災害科学国際研究推進プロジェクト<br>■ 地域医療再構築プロジェクト<br>■ 環境エネルギープロジェクト<br>■ 情報通信再構築プロジェクト | ■ 東北マリンサイエンスプロジェクト<br>■ 放射性物質汚染対策プロジェクト<br>■ 復興産学連携推進プロジェクト<br>■ 地域産業復興支援プロジェクト |
|---|---|---|



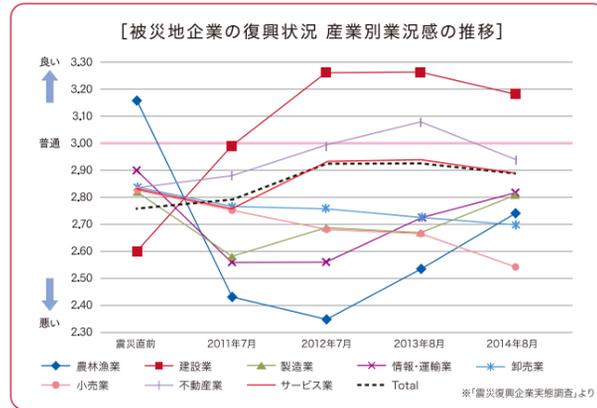
## イノベーションによる東北地域産業・社会の復興



# 地域産業復興調査研究プロジェクト

本プロジェクトは、東日本大震災からの復興過程の現状と課題に対して学問的知見をもとに調査分析に取り組み、地域の産業・社会を再構築するための新たなモデルの構想や政策提言を行う等、被災地から情報発信することを目的としています。

プロジェクトでは、東北大学など仙台市に立地する大学の研究者を中心に、広く域外の大学や研究機関等から100名を超すメンバーの参加を得て、国の機関、地方自治体、東北地域の財界・シンクタンク、民間企業等との連携と協力のもと、2011年度から調査研究活動を開始し、新たな産業・社会の形成による東北地域の復興に向けて、様々な課題解決に取り組んでいます。



## 震災復興研究センター

震災復興研究センターは、震災直後の2011年4月に地域イノベーション研究センター内に設立され、本プロジェクトの推進をはじめ、学内組織である災害科学国際研究所や学外の諸団体・学協会等とも連携して震災復興に関する研究活動とその対外発信等に広く取り組んでいます。

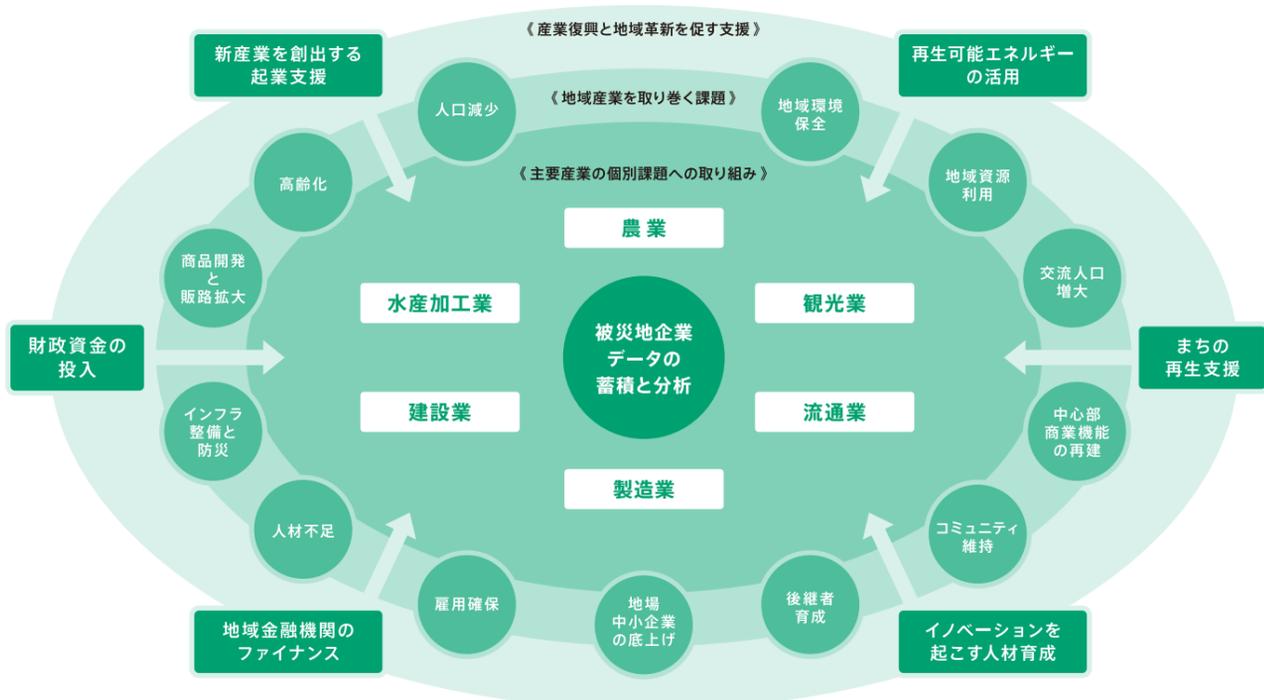
震災復興研究センター長 経済学研究科教授 増田 聡



## プロジェクト構成図(2015年度)

2015年度のプロジェクト全体の統一テーマ「震災復興は東北をどう変えたか」のもと、東北地域の主要産業分野および産業復興と地域革新を促す支援分野においてサブプロジェクトチームを構成して調査研究活動を行っています。

### 【テーマ】震災復興は東北をどう変えたか



# 地域産業復興調査研究シンポジウム

## 新しいフェーズを迎える東北復興への提言 —— 「創造的復興」は果たせるか、4年目のレビュー ——



日時:2014年11月8日(土) 13:00 ~17:40  
 場所:東北大学片平キャンパスさくらホール  
 主催:地域イノベーション研究センター、  
 震災復興研究センター  
 共催:公益財団法人経和会記念財団

2014年度調査研究の中間報告として、被災地企業に対する大規模アンケート調査をはじめとしたサブプロジェクトに基づく調査報告と、復興支援に携わる国、自治体、企業およびNPOの代表者によるパネルディスカッションを行いました。

## 書籍

調査研究の成果を書籍として刊行し、震災復興の現状と提言を発信しています。



第1巻 東日本大震災復興研究Ⅰ 河北新報出版センター(2012年3月)  
 東日本大震災からの地域経済復興への提言  
 被災地の大学として何を学び、伝え、創るのか

第2巻 東日本大震災復興研究Ⅱ 河北新報出版センター(2013年3月)  
 東北地域の産業・社会の復興と再生への提言  
 復興過程の現実に向き合い、地域の可能性を探る

第3巻 東日本大震災復興研究Ⅲ 河北新報出版センター(2014年3月)  
 震災復興政策の検証と新産業創出への提言  
 広域のかつ多様な課題を見据えながら  
 「新たな地域モデル」を目指す



第4巻 東日本大震災復興研究Ⅳ 南北社(2015年3月)  
 新しいフェーズを迎える東北復興への提言  
 「創造的復興」は果たせるか、4年目のレビュー

### 【主な内容】

- ※ 第1部 震災復興企業実態調査
- ※ 第2部 産業復興
- ※ 第3部 復興支援
- ※ 第4部 地域社会再生
- ※ 第5部 東北復興への新しい流れ
- ※ 第6部 神戸と東北の復興検証

# 地域発イノベーション調査研究プロジェクト

東北地域産業の活性化には、イノベーションを実現する挑戦者(イノベーター)の存在が不可欠です。本プロジェクトでは、公益財団法人東北活性化研究センターとともに、東北地方の挑戦者たちによってなされたすぐれたイノベーション事例を発掘し、そのようなプロジェクトがいかに始まったのか、挑戦者たちがそのプロセスでどのような困難に直面しどう乗り越えたのかなど、イノベーションの軌跡を明らかにすることに取り組んでいます。

## 書籍

調査研究の成果を書籍として刊行し、イノベーションへの挑戦意欲の高揚に資しています。



第1巻

地域発イノベーション I  
東北からの挑戦 河北新報出版センター(2012年3月)

第2巻

地域発イノベーション II  
東北企業の資源発掘・展開・発展 河北新報出版センター(2013年3月)

第3巻

地域発イノベーション III  
震災からの復興・東北の底力 河北新報出版センター(2014年2月)

第4巻

地域発イノベーション IV  
常識への挑戦 南北社(2015年2月)

常識に挑み続ける11人の東北の企業家の挑戦

大事なこと、君の頭の中に巣くっている常識という理性を綺麗さっぱり捨てることだ。もっともらしい考えの中に新しい問題の解決の糸口はない。

トーマス・エジソン(米国の発明家、起業家/1847~1931)

### 【内容】

|                        |                                |
|------------------------|--------------------------------|
| 農業生産法人 株式会社 GRA        | イチゴで儲けないイチゴ農家が産業を変える           |
| 株式会社 アップルファクトリージャパン    | おいしいリンゴを、いつでも手軽に、新鮮に           |
| NPO法人東北開墾              | 情報誌・SNSを活用して1次生産者と消費者の関係を再編    |
| 株式会社 悠心                | 「空気に触れない容器」で「新鮮な醤油」という新たな価値を確立 |
| 佐渡精密株式会社               | 離島からのイノベーション                   |
| 株式会社 TESS              | 常識を覆す画期的な「足こぎ車いす」を事業化          |
| 会津富士加工株式会社             | もと半導体工場が世界初の腎臓病患者向けレタスを量産      |
| スパイバー株式会社              | あしたの夢の繊維 クモの糸実用化への挑戦           |
| 株式会社 ワイヤードビーンズ         | IT技術者集団が日本の伝統工芸の再生に挑戦          |
| 株式会社 グレースハーブ・インターナショナル | 楽器産業に革命・憧れのハーブを楽しむ環境を創造        |
| ハバタク株式会社               | ドチャベンで地域を活性化                   |



# Innovation Café

地域発イノベーション・カフェ  
常識への挑戦

日時

2015年2月27日(金) 18:00~20:00

場所

東北大学片平キャンパス  
エクステンション教育研究棟

主催: 地域イノベーション研究センター、  
公益財団法人東北活性化研究センター  
共催: 公益財団法人経和会記念財団



『地域発イノベーションIV:常識への挑戦』の出版を記念して、地域発イノベーション・カフェが開催されました。事例で取り上げた企業のうち6名の企業家にご登壇いただき、刺激的な会話が飛び交うパネルディスカッションとなりました。フロアには100名近くの聴衆が集まり、盛況のうちに会を終えることができました。



### パネルディスカッション

■ テーマ: 「常識への挑戦」

■ パネリスト: ・農業生産法人(株)GRA / 営業統括・財務統括 塔本幸治 氏

・(株)悠心 / 代表取締役社長 二瀬克規 氏

・会津富士加工(株) / 代表取締役社長 松永茂 氏

・(株)ワイヤードビーンズ / 代表取締役社長 三輪寛 氏

・(株)グレースハーブ・インターナショナル / 代表取締役CEO 二瓶佳子 氏

・ハバタク(株) / 代表取締役 丑田俊輔 氏

■ コーディネーター: 東北大学特任准教授(客員)・一般社団法人MAKOTO代表理事 竹井智宏



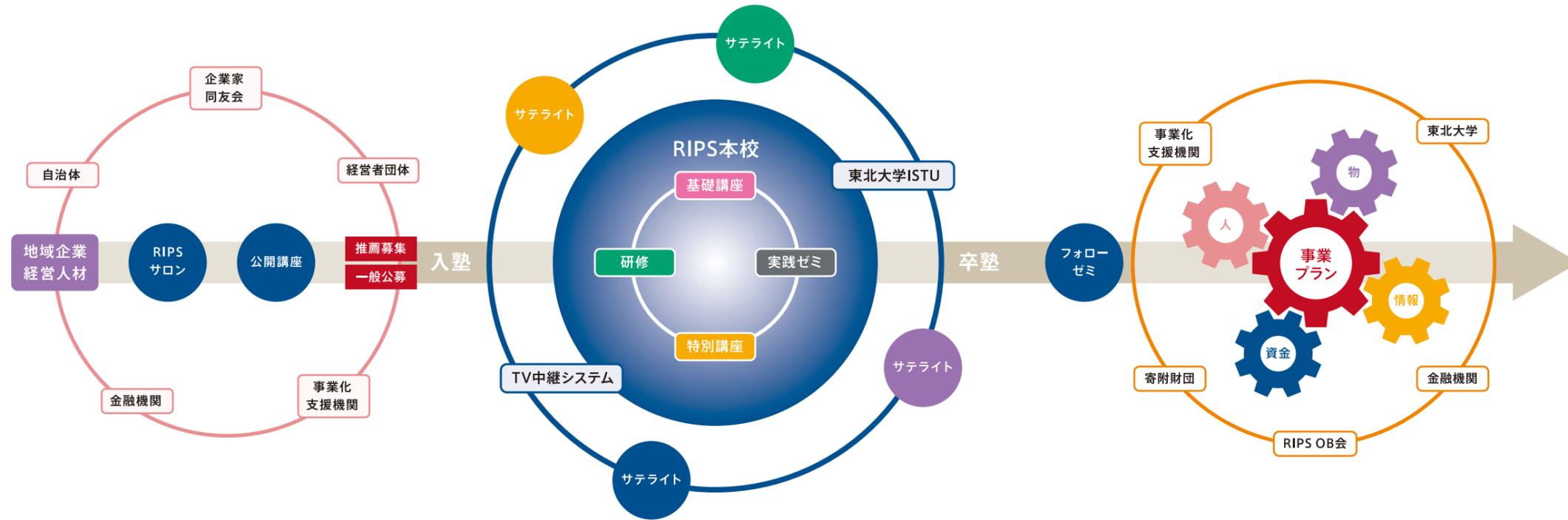
東北大学履修証明プログラム  
地域イノベーションプロデューサー塾

地域イノベーションプロデューサー塾(RIPS:Regional Innovation Producer School)は、地域企業、特に中小企業の経営人材を対象に、革新的なイノベーションによる新事業開発を促進し、地域における新たな雇用機会の創出と産業振興に貢献できる革新的プロデューサーを育成する事業です。RIPSは、地域の経営人材が未来を創るイノベーションに挑戦して魅力的な事業プランを開発し、構想力と実行力を支える知力・スキル・マインドを学習するための場を提供するとともに、卒業後の事業プランの実現プロセスを支援しています。

RIPSの最も重要な特徴は、体系的なカリキュラムと支援体制をもって新事業開発、プロデューサー育成および事業化段階の支援を一体的に行うことです。RIPSは、地域発展のための新しいモデルとして構想されたもので、まず東北地域においてその実効性を検証し、将来的には日本の他の地域にも普及していくことが期待されています。

育成する人材像

- ・イノベーションへの強い挑戦意欲をもち、すぐれた新事業をプロデュースできる人材
- ・新事業の創出を支える、自社のマネジメント・システムを構築できる人材



◎イノベーションと新事業の創出  
◎震災復興の促進

カリキュラムの構成

| 区分   | 内容   |
|------|--|
| 基礎講座 | 新事業のデザインに必要な基本的な知識として、イノベーションの基本、ビジネスデザインの原理と方法、デザイン思考、マーケティング、知財と法務などを学習し、それを組織として支えるための人材・組織マネジメント、業務改善などについて学習します。                    |
| 特別講座 | 毎回特定のテーマを設定し、基礎講座の内容とも連動させながら、中小企業が新事業をデザインし成功させていくためにもつべき重要な知識や視点として、需要分析と集客のデザイン、ブランド戦略、海外進出などについて、成功事例を中心に学習します。                      |
| 研修   | 従来とは異なる革新的な取り組みを実現するためには、事業運営に必要な知識だけでなく、実際に組織や関係者に影響力を発揮するための事業家マインドや高度な対人関係スキル、複眼思考スキルなどが要求されます。研修では、グループでの演習などを通してこうしたマインドやスキルを習得します。 |
| 実践ゼミ | 塾生自身の事業アイデアをベースに、革新的な事業の開発を目指します。実業で活用されている事業設計工程に基づき、演習を中心としたスタイルで、毎回、ビジネス部品をひとつひとつ構築し、最終的に、卒業後に実行可能なレベルの事業プランを組み立てます。                  |



米国プルデンシャル財団から  
事業化助成金1億円提供



RIPS卒業生の事業化を支援するため、米国のプルデンシャル財団より、2014年度から3年間にわたり、総額1億円の助成金が提供されます。この助成金は、宮城・岩手・福島の被災地3県の地域経済を牽引するようなRIPS卒業生の革新的な事業活動に活用され、震災からの早期復興に資することが目的です。

RIPS OB会



RIPS OB会は、センターとの緊密な連携のもとで、経験デザイン研究会と事業実践研究会を開催しており、卒業生たちの継続学習の場となっています。RIPS卒業生たちは、このOB会を通じて、事業上の相互協力を行うとともに、東北地域におけるイノベーションの創出に貢献していきます。

優秀塾生発掘と連携体制構築

- RIPSサロン** 東北各地で他機関と連携してRIPSを紹介するセミナーを開催
- 公開講座** RIPSの一部の授業を一般に公開
- 入塾者募集** 推薦募集、一般公募 ※推薦は本塾認定の機関に限る

地域イノベーションプロデューサー塾

- カリキュラム** プロデューサー育成と事業プラン開発の同時達成 理論・発想・演習・実践の融合教育 塾生の自主的な能力の養成を重視
- TV中継システム** 本校とサテライトとのリアルタイム映像授業
- 東北大学ISTU** 東北大学インターネットスクールによる欠席・復習支援

卒業後の事業化支援

- フォローゼミ** 卒業後の事業化支援およびフォローアップ 重点支援、認定支援、一般支援
- 産学官連携** 産学官連携体制による事業化支援の強化
- RIPS OB会** イノベーション・プロデューサー・ネットワークの構築 「経験デザイン研究会」と「事業実践研究会」を開催して相互研鑽



## 地域イノベーションアドバイザー塾

東北地域の経済発展のためには、イノベーションに挑戦し高い成長力をもつ新事業の創出を意欲的に推進していくイノベーターだけでなく、優れた目利き力と支援力をもってこれらのイノベーターを発掘し、彼らと伴走しながら様々な支援を効果的に提供していくことのできる多くの支援者を育成することが必要です。

地域イノベーションアドバイザー塾(RIAS: Regional Innovation Adviser School)は、地域企業の経営者の目線で事業革新を支援するパートナーとなるための、企業経営と事業革新に関する体系的な知識や支援に必要な実践的なスキルを学習する機会を提供します。

### 地域企業のイノベーションを促進する

## 高度な目利き力と支援力を有する 支援人材を育成します

|         | ベーシックコース   | アドバンスコース  |
|---------|--|---|
| 育成する人材像 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域産業発展に対する情熱と志をもち、革新的事業を目利きできる人材</li> <li>● イノベーションに挑戦する事業者を発掘し、事業計画の開発とその実現を支援できる人材</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 革新的な事業計画の開発支援、支援事業に合った支援メニューの編成およびコーディネーションを行うことのできる、高度な支援力を有する人材</li> </ul>   |
| 開講期間    | 5月～7月(隔週土曜日:全7日)   | 10月～翌年2月(隔週土曜日:全8日)   |
| 受講対象者   | 東日本大震災の被災地3県(岩手県、宮城県、福島県)に本拠地をおく金融機関、商工会議所、公的支援機関および市制を敷く自治体の職員で、所属機関から派遣された者<br><small>※各機関からの派遣は原則1名</small>                           | ベーシックコースの修了者のうち、「イノベーション支援に関する研究計画書」を提出し、地域イノベーション研究センターにより選抜された者   |
|         | 30名程度  | 8名程度  |
| 授業方法    | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 主として講義による</li> <li>● 少人数編成の業界研究グループに分かれ、「業界研究レポート」の完成を目指して、毎回資料収集・分析・議論を行う</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 毎回、地域イノベーションプロデューサー塾(RIPS)の「実践ゼミ」にて事業者による事業計画の開発について支援実習を行い、「実習レポート」を作成する</li> <li>● それぞれの塾生が、入塾時に提出した研究計画にそって研究レポートを作成する</li> </ul> |



## みやぎ県民大学開放講座

本事業は宮城県からの委託を受けて実施する一般市民を対象とした開放講座です。当センターでは、地域中小企業のイノベーション能力を向上させることに焦点をおき、これまで「地域企業イノベーションの切り口」、「地域企業の飛躍を考える40の質問」、「管理者の役割とリーダーシップ」、「東日本大震災からの復興：現状と課題」などをテーマにして開放講座を実施してきました。

### 《2015年度予定》「デザイン発想からのイノベーション」

従来の技術発想やマーケティング発想とは異なる、「経験デザイン」発想からのイノベーションについて講義とワークショップを行い、主に地域企業や支援機関の方を対象にして、新製品・新事業・地域づくりのアイデアを探索します。

|     |                          |                             |
|-----|--------------------------|-----------------------------|
| 講師  | 東北大学大学院経済学研究科 教授<br>権 奇哲 |                             |
| 第1回 | 9月4日(金) 18:30~20:30      | 講義:「経験デザイン」とイノベーション         |
| 第2回 | 9月11日(金) 18:30~20:30     | ワークショップI:「原型思考」による経験デザイン    |
| 第3回 | 9月18日(金) 18:30~20:30     | ワークショップII:「在るべき姿」からの経験デザイン  |
| 第4回 | 9月25日(金) 18:30~20:30     | ワークショップIII:「時代の定義」からの経験デザイン |



## 社会イノベーター人材育成事業

本事業は、東北地域において社会的課題を解決する事業を構想し運営していくリーダーとなる「社会イノベーター」の育成・支援に取り組むもので、経済同友会が東北の人々と経済の元気を取り戻すために実施している復興支援プロジェクト(IPPO IPPO NIPPONプロジェクト)からの寄付金でまかなわれています。当センターでは、東北各地で地域再生のために活躍しているリーダーたちに、第一線の社会イノベーターから手法やマインドを学ぶ場を設け、地域づくりの考え方や実行能力の向上を支援します。また、一般の方にも本事業を開放し、社会イノベーターを目指す人材を輩出していきます。

《2015年度予定》

社会イノベーターを招いた勉強会：5月より隔月開催(6回の開催を予定)



## 関西起業塾

本事業は、東日本大震災からの復興を支援したいという関西経済連合会の提案を受けて共同企画した公開講座で、関西の第一線で活躍する経営者が東北の若手経営人材と学生たちに企業づくり・新事業づくりのヒントを熱く語ります。東北地域の再生は、より多くの中小企業が創出するイノベーションによる経済活性化と雇用創出が大きな鍵を握ります。このためには多くの地域企業が大局的な環境認識のもとで事業創造・技術開発・人材育成の堅実な仕組みをつくり、旺盛な起業家精神をもって新たな事業にチャレンジすることが不可欠です。「関西起業塾」はそのための強い意欲と豊かな智恵を得る機会となります。



《2015年度予定》

9月以降に3回の公開講座を実施する予定です

## 地域との交流

### 公開講座

当センターでは、中小企業の経営管理や人材育成、イノベーションへの挑戦および新事業創出を促進するとともに、RIPS入塾希望者を広く開拓していくために、東北各地で地元の自治体や事業者団体などと連携して経営セミナーや公開講座を実施しています。

|                        |          |         |
|------------------------|----------|---------|
| 会津若松経営セミナー             | 2014年6月  | 会津若松市   |
| 地域イノベーションプロデューサー塾 白石講座 | 2014年11月 | 白石市     |
| 地域イノベーションプロデューサー塾 公開講座 | 2014年9月  | 会津若松市   |
|                        | 2014年12月 | 仙台市     |
|                        | 2015年1月  | 仙台市、花巻市 |



### 中小企業経営者たちとの交流

当センターでは、宮城県中小企業家同友会や仙台商工会議所青年部などの経済団体との緊密な交流を継続的に行うことによって、地域中小企業の現状や重要課題を踏まえた教育プログラムの開発など、地域に欠かせない新しい事業の開発に取り組んでいます。



### 「いしのまきイノベーション企業家塾」との連携

当センターでは、2014年5月に石巻信用金庫が開講した「いしのまきイノベーション企業家塾」に対して、その構想段階から運営体制やカリキュラムの開発などについて協力させていただくとともに、講師を派遣するなどの緊密な連携を行っています。この塾は、石巻地域の震災復興と企業活動の活性化を目指して毎年20名程度の事業者を受け入れて人材育成に取り組んでいますが、卒業生には当センターの地域イノベーションプロデューサー塾への推薦入塾が認められます。今後も当センターでは、イノベーションを実現し地域経済の発展に貢献する経営人材を育成しようとする全国の多くの地域に対して積極的な協力支援を行っていきます。



国内での活動

第3回国連防災世界会議 2015仙台  
パブリックフォーラム

東北大学復興シンポジウム

東北大学からのメッセージ～震災の教訓を未来に紡ぐ～

2015年3月15日に開催された東北大学復興シンポジウムでは、東北大学全体として取り組んでいる8つの重点プロジェクトを中心に、「東北の復興から日本の新生を目指して」とのテーマでパネルディスカッションが行われました。当センターからは、重点プロジェクトの一つである「地域産業復興支援プロジェクト」の取り組みについて紹介しました。



東北地域における産業・社会の復興

2015年3月16日にシンポジウム「東北地域における産業・社会の復興」を開催しました。国内外から多数の参加者があり、地域イノベーション研究センターの震災復興に関する調査研究の成果と人材育成の取り組みについて報告を行いました。

東北大学イノベーションフェア2014 Dec.

2014年12月4日に開催された「東北大学イノベーションフェア2014 Dec.」の特別展示「東北大学復興アクション-8つのプロジェクト-」にて、「地域産業復興支援プロジェクト『震災復興に向けた東北地域産業の調査研究と革新的プロデューサーの育成』」のブース出展を行いました。当日は、地域内外の企業関係者、研究者等が多数訪れました。



海外向けの情報発信

東日本再生ヴィジョン展  
(フランス・リヨン)

フランス・リヨン市で開催された東日本大震災に関する展示企画に対して、本学アーカイブプロジェクト・みちのく震録伝および河北新報社の協力を得て情報提供を行いました。また、現地において本学の復興への取り組みや被災地の現状についてのプレゼンテーションとパネル展示を実施しました。



開催日：2013年3月12日～23日  
場 所：リヨン市庁舎、リヨン第3区役所

ジャパニーズ・ウィーク 神戸大学  
シンポジウム (ベルギー・ブリュッセル)

本学と災害科学分野において連携協力協定を締結している神戸大学がベルギー・ブリュッセルにおけるジャパニーズ・ウィークの一環として開催する東日本大震災2周年シンポジウムに出席し、本学の復興への取り組みについてプレゼンテーションを行いました。共に震災被災地の中心に立地する総合大学として連携しながら、海外機関においても積極的な情報発信を行っています。



開催日：2013年3月13日  
場 所：欧州経済社会評議会



藤本 雅彦

経済学研究科・教授  
地域イノベーション研究センター・センター長  
地域イノベーションプロデューサー塾・塾長  
地域イノベーションアドバイザー塾・塾長



増田 聡

経済学研究科・教授  
震災復興研究センター・センター長



権 奇哲

経済学研究科・教授  
地域イノベーション研究センター・  
総括プロデューサー  
地域の人材育成事業統括



福嶋 路

経済学研究科・教授  
地域イノベーション調査研究プロジェクト  
統括



板垣 良直

地域イノベーション研究センター・特任教授  
地域イノベーションプロデューサー塾・  
実践ゼミ統括



池谷 昌之

地域イノベーション研究センター・特任教授(客員)  
地域イノベーションプロデューサー塾・  
プロモーター/実践ゼミファシリテーター



渡辺 一馬

地域イノベーション研究センター・  
特任准教授(客員)  
社会イノベーター人材育成事業統括



加藤 明

地域イノベーション研究センター・研究員  
地域産業復興調査研究プロジェクト・  
コーディネーター



富澤 辰治

地域イノベーション研究センター・  
地域連携室長  
地域イノベーションプロデューサー塾・  
プロモーター



倉田 美子

地域イノベーション研究センター・事務室長



阿部 俊子

地域イノベーション研究センター・事務スタッフ